

平成 28 年度 秋田大学医学部医学科

# 小論文

後期日程試験問題

## 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は7ページあります。
- 3 監督者の指示に従って、解答用紙（提出用）に受験番号を記入しなさい。  
解答用紙及び下書き用紙（ピンク色）は各2枚です。
- 4 解答は解答用紙の該当欄に記入しなさい。  
問題は第Ⅰ問と第Ⅱ問があります。試験中にこの問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 試験終了後、解答用紙のみ提出しなさい。問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。
- 6 試験時間中の答案提出及び途中退出は認めません。

第I問 以下の文章を読んで、設問に日本語で答えなさい。

# 本文省略

<出典:SCIENTIFIC AMERICAN. November 2013 "Why the brain prefers the paper."より  
抜粋。一部改変>

- 問1 下線部(1)のscreens が, "paper" と比較し劣っている点は何か。150字以内で述べなさい。
- 問2 下線部(2)のmental maps の形成に "paper" が優れている点は何か。300字以内で述べなさい。
- 問3 下線部(3)のgreatest strength as a reading medium: its modesty とは何か。150字以内で述べなさい。

第Ⅱ問 以下の文章を読んで設問に答えなさい。

# 本文省略

<出典：五木寛之「大河の一滴」より抜粋，一部改変>

- 問1 著者が考える〈寛容〉とは何か。100字以内で述べなさい。
- 問2 教育における〈寛容〉の必要性を著者はどのように考えているか。200字以内で述べなさい。
- 問3 〈寛容〉は医学や実生活のどのような事象としてあるか。あなたの考えを300字以内で述べなさい。